

令和8年度第1回大洗町地域公共交通会議 議事録

日 時： 2026/5/11(月)14:30～15:40

場 所： 大洗町役場 3階会議室

出席者： 関会長、山田副会長、山戸委員、小林委員、石井委員、高畠委員代理、鬼沢委員代理、
下山田委員、古賀委員、服部委員、柿本委員、梅原委員代理、菅原委員、田山委員、大
川委員、田中委員、住谷委員、深作委員、大木委員、鈴木委員、中島委員
事務局

大洗町役場まちづくり推進課 海老澤課長(運賃協議分科会会長)、松山主査、
鈴木係長、佐久間主事

株式会社アルメック

- 資料：
- ・配布資料一覧
 - ・次第
 - ・出席者名簿
 - ・席次表
 - ・資料A_大洗町運賃協議分科会協議結果について
 - ・資料1_運賃協議分科会の運用について
 - ・資料2_町内循環バスの運賃改定について
 - ・資料3_大洗町地域公共交通計画改定(案)等に係るパブリックコメントの結果について
 - ・参考_大洗町運賃協議分科会設置要綱
 - ・参考_大洗町運賃協議分科会委員名簿
 - ・資料4_町内循環バスの再編案について
 - ・資料5_町地域公共交通計画の改定について
 - ・資料_現大洗町地域公共交通計画
 - ・参考_大洗町地域公共交通会議規約
 - ・参考_大洗町地域公共交通会議構成員名簿

1. 開会

2. 会長挨拶

○対面での開催は1年ぶりとなる。この間、町内循環バスの再編について関係機関と調整を進めてきた。書面開催にて報告してきたが、今般再編案が取りまとまったので今回議題として協議する。地域公共交通計画の改定、運賃協議分科会の報告も議題となっている。500円タクシーと町内循環バス、路線バスを組み合わせ、町民と観光客の利便性と持続可能性を確保できるよう、忌憚のない意見を頂戴したいと思う。(会長)

3. 協議

○本日は委員 24 名中 21 名が出席しており、有効な会議である旨を報告する。(会長)

報告第 1 号 大洗町運賃協議分科会における協議結果について

○運賃協議分科会は道路運送法に基づき設置したものである。詳細について海老澤分科会長より説明する。(会長)

⇒資料Aに示した通り、運賃改定については運賃協議分科会において妥当であると整理された。シミュレーションやモニタリングをしっかりと行っていくべきという意見があり、事務局で対応していく。なお、分科会で協議した事項については、本会議では報告とする。(分科会長)

○(資料1～3について説明)(分科会長)

○令和6年度の収支が示されているが、運賃改定後はどうなるか。バス事業者としても燃料費等の経費が上がっていると思うが、見込んでいるか。(委員)

⇒運賃協議分科会でも同様の質問があったが、運賃改定後は1千万円程度の赤字を見込んでいる。コミュニティバスは路線バスを補完するものだが、路線バスと同じ法定運賃だと住民には負担が大きいため、公共性を鑑みて安価な協議運賃として設定する。経営の安定化に繋がるよう利用促進策を行っていく。バス事業者には経費の上昇分を見込んだ上で算出してもらっているところだが、国際情勢の影響等分からない部分もあるので注視していく。(事務局)

⇒経費の上昇分を見込んでいる旨承知した。(委員)

⇒町の事業としての仕組みを改めて説明してほしい。(会長)

⇒収入と経費の差額を町から補填する形である。10月1日以降の収入見込みと、上昇分を見込んだ経費見込みを想定して、町の予算を組んでいる。(事務局)

⇒予算内の経費部分で上昇分を見込んでもらえば良い。(委員)

○報告第1号については良いか。(会長)

⇒良い。(委員一同)

報告第 2 号 大洗町地域公共交通計画の改定(案)等に係るパブリックコメントの結果について

○(資料3について説明)(事務局)

○町内循環バス、路線バスの決済方法はどうなっているか。昨今は PayPay やクレジットカード等、多様な決済手段が求められており、観光客の中には現金を持たない人もいるので支払方法の充実が必要である。(委員代理)

⇒現行の町内循環バスの支払方法は回数券と現金のみである。再編後はいばっぴを搭載する予定である。PayPay などは維持費がかかり、また住民と観光客を識別して運賃を変えることも検討したが、システムを構築する必要があるため再編後に検討する。(事務局)

⇒路線バスではクレジットカードのタッチ決済、QR コード決済に対応している。町内循環バスへの導入は町との検討次第である。(委員)

○報告第2号については良いか。(会長)

⇒良い。(委員一同)

議案第1号 町内循環バスの再編案について

○(資料4、ルートと停留所について説明)(事務局)

○根本的にバス停で待ってもらう方法は時代遅れではないか。電話やアプリ等で必要な時に来てもらう方が良い。また、安すぎるのも正常な経済活動を阻害する懸念がある。(委員代理)

⇒本案は1~2年検討してきたものであり、アプリ等で来てほしい時に来てもらうシステムも増えている一方、定時定路線の安心感もある。500円タクシーも並行して実施していることから、今回の再編では定時定路線として引き続き考えていく。状況を見ながら、将来的には時代に合った形態に少しずつ変えて運行していきたい。(事務局)

⇒高齢者向けの施策ばかりに公金を投入して若年層に負担を強いるのではなく、正規の運賃で事業が成り立つ方が良い。(委員代理)

⇒運賃については、福祉的な目的もあるので、経済原理だけでは難しい。(会長)

⇒長い目では委員代理が指摘された考え方も必要だが、まだ今の時点ではAIのシステムではあまり効率化できない等、行政の限られた予算では踏み出せない部分がある。支出を増やさないようにしたいという町の考え方もある。一方で、パブリックコメントにあった観光客からは運賃を多く取れないかという考えについては、次の改定時等に考えられると良い。観光客向けの高めのデマンド型交通等を考えても良いのではないかと。(副会長)

○鹿島臨海鉄道として、鉄道とのダイヤの接続や路線バスの大洗駅乗り入れについて感謝する。町内循環バスの再編についての周知はどのように行っていくか。(委員)

⇒今回の会議で承認を頂ければ、なるべく早くマップ作製、広報、町公式LINE等で周知できれば良いと考えている。町公式LINEは観光客も多く登録している。(事務局)

⇒ルート名が多くあるので、路線番号を振ることも考えられる。(会長)

⇒再編後は複雑で選択肢が多くなる。利用者が欲しい情報を届けられるような仕組みをスタートする前から、実施しながらも考えていく必要がある。(副会長)

○大洗町の再編については、モデル事例として紹介したいので情報共有してほしい。町内循環バスは通学の足としての利用も想定されているが、現在はどの程度利用されているか。また、再編後はどの程度の見込となっているか。また、町として補助することは検討しているか。(委員代理)

⇒大洗南小学校にバス通学として登録している児童は学校で把握しており、以前は50~60名だったが、児童数の減少で近年は20~30名となっている。ただし実際は保護者が送迎する日もあり、毎日バス通学しているのではなく日によって異なるのが実情である。運行事業者の茨城交通でカウントしている数字もあるが、大人と子どものそれぞれの利用人数等、データとして拾いきれない部分もある。再編後も保護者の送迎がどの程度か想定しきれない部分がある。

再編後は詳細な数字を取れるようにしていきたい。補助については、今まで1回 50 円だった運賃の負担が増えないよう、補助を実施する方向で調整中である。(事務局)

○(資料4、車両について説明)(事務局)

○(資料5、町地域公共交通計画の改定について説明)(事務局)

○質問がないようなので質疑を終了し、議決を取る。案の通り承認して良いか。

⇒異議なし。(委員一同)

⇒では承認することとする。事務局は10月1日の運行開始に向け調整を進めること。(会長)

その他

○議題にはない件だが、GW 中の渋滞が深刻であった。公共交通もだが、緊急車両や住民の自動車も動けない状態であり、大きな問題であり、改善しないといけない。一方通行にする、住民や公的な車両のみのルートを作る等が考えられる。カーナビのせいか幹線道路だけでなく狹隘道路や住宅街の中の道路まで入ってきており、安全面を含め解決が必要である。(委員代理)

⇒花火大会や初詣の際も含め、渋滞が問題となっている。一昨年には通り抜けできない狹隘道路に流入した車が閉塞したことがあり、入口に看板を設置したことで解消した。皆様に頂いた情報に基づいて少しずつ改善できればと思う。(委員)

⇒GWは潮干狩りもあり大勢が来訪した。ひたちなか大洗リゾート構想に基づくひたちなか市との連携により、アクアワールド大洗の渋滞に対して交通規制を行ったところである。ただし天気によって渋滞の状況や施策の効果が変わるため、難しい部分もある。町外の人には狹隘道路ではなくメインストリートを通行してもらいたい。来街者にはホームページ上で水戸南 IC への迂回路や渋滞状況を案内している。検討して進めている。(委員)

⇒多くの人に来てもらいたいが、渋滞で悪いイメージがついてはいけない。渋滞については町としても苦慮している。できることから対応していくので、引き続きご意見やご指摘をいただきたいと思う。(会長)

4. 閉会

以上